

朝日新聞
(平成25年1月28日)

親子でロケット 大空めがけ発射

佐伯区で教室

広島市佐伯区海老山南2



丁目のなぎさ公園小学校で27日、「親子ロケット教室」が開かれた。同小の5、6年生と保護者ら約30人が参加。火薬を使ったロケットづくり挑戦し、グラウンドで発射した。

日本モデルロケット協会の従事者ライセンスを持つ広島なぎさ中学・高校の寄義昭教諭が指導。子どもたちは、火薬や落ちてくるときに使うパラシュートを厚

紙の筒に詰め、ロケットを組み立てた。発射台に設置し、カウントダウンに合わせ、点火装置のボタンを押すと、ロケットは約45メートル空へ。「おー」と歓声が上がった。両親や弟と参加した5年生の岩本凜さん(11)は、「おもちゃみたいなのに本格的なロケットのように飛んでびっくり。うまく出来てうれしかった」と笑顔で話した。(森泉萌香)